

※事務事業コード／ 0110040602

平成 25 年度 事務事業シート

P1

部署名	部 教育委員会	課 あじさい館	事業年度期限	● 無 ○ 有（平成 年度～平成 年度）				
会 計	一般会計	款・項・目 100406あじさい館管理費	新規／継続 （事業区分1）	継続	市民協働	行政主体	総合計画コード	2512
事業名	02あじさい館管理事業							
目 的 （成果）	市民相互交流を通し、市民の連帯意識の形成促進を図り、教養の向上、文化の振興及び健康増進に寄与する。							
内 容 （概要）	あじさい館の施設維持管理にあたり、施設の安全管理・衛生管理・空間環境の徹底を図る。特に、福祉館の浴場運営については法令を遵守して安全管理・衛生管理に努める。さらに、あじさい館内の霞ヶ浦公民館・図書館・福祉館を子供から高齢者までの幅広い年齢層に亘って利用されるゆうゆう快適空間や場所を提供する。							

■事業費 (単位:円)

平成23年度 決算			平成24年度 決算			平成25年度 予算				
事業内容	給湯・空調・ろ過装置等点検、本館定期清掃、環境衛生業務、本館内外管理業務		あじさい館管理業務一括委託等		あじさい館管理業務一括委託等					
財源内訳	国庫支出金		国庫支出金		国庫支出金					
	県支出金		県支出金		県支出金					
	市債		市債		市債					
	その他		その他	6,268,439	その他	7,303,000				
	一般財源	64,371,811	一般財源	57,642,426	一般財源	50,096,000				
	計	64,371,811	計	63,910,865	計	57,399,000				
歳出内訳	節番	節名称	金額	節番	節名称	金額	うち臨時分			
	01	報酬	60,000	01	報酬	52,500	01	報酬	60,000	
	11	需用費	30,707,905	11	需用費	33,285,728	11	需用費	27,830,000	
	12	役務費	762,047	12	役務費	633,698	12	役務費	787,000	
	13	委託料	23,566,735	13	委託料	24,210,208	13	委託料	26,580,000	
	14	使用料及び賃借料	2,099,374	14	使用料及び賃借料	2,095,736	14	使用料及び賃借料	2,102,000	
	15	工事請負費	7,155,750	16	原材料費	0	16	原材料費	10,000	
	18	備品購入費	0	18	備品購入費	3,632,995	27	公課費	30,000	
	27	公課費	20,000							
			</							

■指標

P2

種類	指標名	単位	説明		平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	浴槽水水質検査回数	回	浴槽水残留塩素検査回数	目標	1,212	1,212	1,204
				実績	1,212	1,216	
活動指標	法定4項目水質検査回数	回	検査機関が実施したレジオネラ菌を含む4項目検査回数	目標	4	4	4
				実績	4	4	
成果指標	開館日数	日	利用者の重大事故等を防止し、安全に開館した日数	目標	303	303	301
				実績	303	304	
成果指標				目標			
				実績			

■事務事業の点検

必要性の点検

☐ 法定受託事務であるなど、市が実施する義務がある

☒ 事業を休廃止した場合、市民生活(行政サービスの提供)に深刻な影響が発生する

☐ 社会情勢の変化を踏まえても十分なニーズがある(ニーズを説明できる)

【必要性 Total判定】□

☒ A:高い(義務) ☐ B:普通 ☐ C:低い

＜Total判定の根拠など、必要性に関する補足説明＞

あじさい館を通じて市民相互交流が生まれ、市民の連帯意識の形成促進が期待される。市民の連帯意識の形成を図るためにあじさい館が活動拠点として果たす役割は大きい

目標達成状況の点検

☒ 活動に関する昨年度の目標は概ね達成できた

☒ 成果に関する昨年度の目標は概ね達成できた

☐ 「取り組み方針(改善方針)」など指標に表れない事項について昨年度の目標は達成できた

【目標達成状況 Total判定】

☐ A:目標よりも大きな成果が得られた ☒ B:概ね目標の成果が得られた

☐ C:目標とする成果が得られなかった

＜Total判定の根拠など、目的達成状況に関する補足説明＞

浴槽水及び法定4項目水質検査(年4回:6月、9月、12月、3月)を年間通じて実施したことにより、福祉館として安全に開館したことで概ね目標の成果が得られた。

実施内容・方法の点検

☐ 社会情勢やニーズの変化等を踏まえると、サービス対象・水準を見直す必要がある

☒ 当該事業の受益者が特定の個人や団体に偏っている

☒ 民間事業者やNPOなどに任せられる業務がある

☐ コストを下げる工夫が考えられる

☐ 成果を高める工夫が考えられる

【実施内容等 Total判定】□

☐ A:見直す余地があり直ぐに実施 ☒ B:見直す余地があるが時間が必要

☐ C:見直す余地がない

＜Total判定の根拠など、実施内容・方法に関する補足説明＞

高橋興業に一括管理委託業務を委託し、施設の管理運営を行っている。当該事業について効果的な管理運営等についてお互いに協議している。

■課題と対応方策

課題	施設の管理及び設備の更新が必要であるけれども、工事請負費・修繕費の予算縮小のため計画的実施が徐々に困難になってきている。
次年度における対応方策(改善方策)	施設管理については、設備機器等安全性を確保しながら、可能な限り予防保全の対応を行っていく。
中長期的な視点での対応方策(改善方策)	今後も末永く拠点施設として定着させるため、適切な維持管理を行い施設機能の水準を保持することを目指す。

■今後の方向性

一次評価【課長評価】		
評価者	あじさい館長 飯田泰寛	担当課名 あじさい館
事業の方向性	☒ このまま継続 ☐ 改善して継続 ☐ 休廃止(年後を目処) ☐ 終了	
事業費の方向性	☐ 増額 ☒ 現状維持 ☐ 減額	
次年度の取組方針(改善方針)	財政課が進めるFM事業の中で、適正管理を検討する。	

二次評価【部長評価】		
部長名	金田 康則	担当部名 教育委員会
確認	☒ 確認	
	施設利用に対する市民の安全性や快適性などを考慮し、適正な維持管理に努める必要がある。	